

「私の知らなかった消費税」

神谷 奈那

今から四年前消費税が八%から十%になった。消費税が上がった時私はあまり深く考えられず、他人事のように感じていた。しかし中学生になり買い物をする機会が増え一個の買い物をする時は感じなかったものが複数の買い物をする時により強く感じるようになった。

消費税には、標準消費税と、食料品消費税の二つがある。日本は、標準消費税が十%で食料品消費税が八%だ。

日本の消費税は、年金、医療費、介護、少子化対策などに使われている。

ここで他の国の税金について考えてみる。ハンガリーは税率が二十七%で一番高い国だ。また、スウェーデンやフィンランドなどの北欧は税率が高い。逆に消費税が高い代わりにハンガリーなどは二十歳までの医療費や、大学の学費が無料などといった教育や福祉が充実している。この制度を先生から教えてもらった時私は買い物をするのがとても大変だと思ったけど、よく考えてみたら大学に行きやすかったりするのでもいいのではないかと思った。

私が消費税の重要さを知ったのは、コロナ禍のワクチンやコロナにかかってしまった人への飲み物、食べ物の支援などは、全部税金からだを知った時だ。そこで税金はただ支払っているのではなく私たちを支える為なんだと知った。コロナ禍を機に税金についてよく知る事ができた。他にも日本の医療費が中学生まで無料なのも税金のおかげだ。これも税金からだを知り、本当に私たちが生きている世の中は税金によって支えられていると思った。また、二〇二三年から二十三特別区と一部市町村で、未就学児から高校生まで医療費が無料になった。そのニュースを見た時私は驚いた。中学生までも無料なのは珍しいのにそれが高校生までに延びたのはすごい事だと思った。他にも、みなさんが一度は見た事ある救急車も多く国では基本的有料だ。日本は、自治体の税金のおかげで無料で乗る事ができる。もし、税金がなければ救急車^をを呼ぶのを躊躇してしまう場合もある。だけど日本は無料という観点で呼びやすいのはとてもいいなと思った。

私は、授業中に最近年金で貰えるお金が、徐々に減ってきていると知り疑問に思った。なぜ、消費税率は引き上げされたのに年金で貰えるお金は下がっていくのかなと。気になって調べてみると、少子化が原因だと分かった。私たちの将来、年金をあげるのには少子化を改善していく事が大切だと思った。

税金は、道路の整備など私たちの身の回りを支える為に使われているのでこれから買い物をする時、税金は嫌なものという認識を失くし笑顔で支払おうと思った。これを私だけではなく、国民一人一人が意識すれば、社会が少しずついい方向に変わっていくと思った。